



時代の転換期にあり、あらゆるものが見直しがせまられている。  
変わらなければいけない、変えなければならぬと考えている  
皆さんにぜひ見て欲しい!!

非人間化への動きをストップさせる答えが  
このドキュメント映画の中にある。

片岡輝

(詩人・東京家政大学名誉教授)

**ワーカーズコープ**とは、労働者で経営者、  
お金も出し合い、仕事をおこし、まちづくりも行う!!  
そんなはたらく者たちと市民が集まってつくれた、  
協同労働の協同組合です。

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会



こころよく

我にはたらく仕事あれ

それを仕遂げて 死なむと思ふ

——石川啄木



## 映画の舞台は東京・下町墨田

東京スカイツリーで注目を集めるまち。

しかしこのまちでも高齢化や孤立化が進んでいる。

地域のかかわりあい希薄になる中で、子育て、介護、食など、命を支え  
育む仕事を通して、まちの人たちと助け合って、仕事をおこし、まちづ  
くりをする、ワーカーズコープとまちの人々の姿を下町人情の中に描く。



## ひとりの子どもを育てるには、ひとつの村が必要だ

団地の一角にある立花児童館の運営をワーカーズコープがはじめて6年。3.11東日本大震災  
の夜、一度帰宅した子ども達が不安をいっぱい抱えて児童館に戻ってきた。「おうちに誰もい  
ない…。」この時、立花児童館の館長・内藤さんは思った。「夜遅くまで過ごせて、ごはんも食べら  
れる第2のおうちが必要だ。子育てに悩むお母さんの手助けもしたい!!」ワーカーズコープは保  
護者とまちの人達に呼びかけ、子育ての困ったにできる「仕事おこし」への挑戦がスタートした。



## たどりついた男

ワーカーズコープの組合員、高浜さんは、元は中学の熱血体育教師。荒れた学校に心血を注ぐ  
中、家庭崩壊・離婚・辞職。その後、日雇い派遣、コンビニの深夜バイトを経て、ワーカーズコープ  
にたどり着く。そこでの仕事は元気な高齢者のための健康増進や、いき  
がづくり。水を得た魚のように高浜さんの第二の人生は始まる。

「仕事って自分の生き甲斐、生きる糧だね」



## 地域は家族

地域に溶け込んで12年。「あゆみケアサービス」では、高齢世帯の生活  
相談はもとより、独居で身寄りのない利用者の家探しや引っ越し、葬儀  
まで文字通り、生活全般を支えるケアを行っている。これも町の人たちの信頼があってこそ。  
墨田のまちは多くの人の命と魂が守っている。絆と命にどれだけ手間をかけられるか? それが地  
域の未来を作る。



# Workers

## ワーカーズ

製作・著作：日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団  
配給：映画上映委員会／一般社団法人 日本社会連帯機構／日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会  
後援：2012 国際協同組合年全国実行委員会  
原案・企画：永戸祐三 監督：森 康行 ナレーション：宮崎美子 ショートコント：松元ヒロ  
撮影：西島房宏 編集：古賀蘭一 音楽：加藤敏樹 音楽効果：八重樫健二 録音：東京テレビセンター  
2012年／日本／ドキュメンタリー／94分／カラー／16:9／HDCAM

上映に関する  
問い合わせ先

「ワーカーズ」映画上映普及委員会

ホームページ <http://www.roukyou.gr.jp>

E-mail [workers-movie@roukyou.gr.jp](mailto:workers-movie@roukyou.gr.jp) FAX 03-6907-8031

新潟市内で「ワーカーズ」試写会を開催します!!

2013年3月26日(火) 18:00開演 入場無料 定員150名

クロスパルにいがた(新潟市生涯学習センター)4F映像ホール

●新潟駅万代口より徒歩20分 ●バス古町方面行き「礎町」下車4分

【試写会お問い合わせ先】

にいがた協同ネット 事務局

(ワーカーズコープ北陸信越支部)

025-384-8222